

(指定するもの4)

金剛峯寺境内出土の地鎮・鎮壇具

- 1 種別 (区分) 有形文化財 (美術工芸品・考古資料)
- 2 名称 (員数) 金剛峯寺境内出土の地鎮・鎮壇具 135点
- ① 金剛峯寺大門 (史跡金剛峯寺境内) 出土品：
賢瓶1点 (身1点、蓋1点)、輪宝2点、槪2点、五色の石 (梵字墨書) 5点、
土師質土器皿7点
- ② 徳川家霊台 (史跡金剛峯寺境内) 出土品：
家康霊屋：輪宝8点、槪3点、秀忠霊屋：輪宝6点、槪3点、帰属不明：槪
9点
- ③ 金剛三昧院 (史跡金剛峯寺境内) 出土品：
賢瓶1点 (身1点、蓋1点)、中国銭18点、台座石1点、土師質土器皿24点
- ④ 高野山霊宝館八大童子ほか保存施設発掘調査地 (金剛峯寺遺跡) 出土品：
賢瓶1点 (身1点、蓋1点、内容物が墨書された紙包16点)
- ⑤ 「宝性院跡」教化研修道場発掘調査地 (金剛峯寺遺跡) 出土品：
折敷2点、京焼施釉陶器皿23点
- 3 所有者 宗教法人金剛峯寺、宗教法人金剛三昧院
- 4 所有者住所 和歌山県伊都郡高野町高野山132番地、
和歌山県伊都郡高野町高野山425番地
- 5 管理責任者 公益財団法人高野山文化財保存会
- 6 所在の場所 和歌山県伊都郡高野町高野山306番地 高野山霊宝館
- 7 指定理由

金剛峯寺境内出土の地鎮・鎮壇具は、史跡金剛峯寺境内及び金剛峯寺遺跡から出土した室町時代から江戸時代にかけての地鎮具及び鎮壇具である。

地鎮具は、建物中央部分に設けられた土坑に賢瓶を埋納するものである。金剛峯寺大門出土品及び金剛三昧院出土品では賢瓶は身と蓋に五色の紐が縦・横に十字にかけられた状態で出土しており、賢瓶の内部には内容物である五宝、五薬、五香、五穀が遺存していた。金剛峯寺大門では五色の石が地鎮土坑から出土しており、鎌倉時代の『覚禅鈔』にある「五色玉」及び「五色丸」に相当する。五色の石に記された種字と五色の配置は、金剛界の五仏を示している。また、高野山霊宝館八大童子ほか保存施設発掘調査地では内容物を墨書した紙包16点が出土しており、内容物の品目が判明する事例である。

鎮壇具は槪と輪宝を組み合わせ、地面に槪を突き立てその上面に輪宝を載せるもので、堂塔の庇や基壇の八方に丑寅 (北東) の方角から順次埋納する。金剛峯寺大門では地鎮土坑の東西で2基の土坑を検出しており、それぞれ一組の輪宝と槪が出土している。槪は輪宝を載せる根と芯からなり、芯には鋳出した銅板をかして組み合わせ、上下の蓮弁と鬼目からなる各部位を作り出す。輪宝は、銅板を打ち抜いた八方に剣形の峰をもつ八峰輪宝である。また、徳川家霊台では、家康・秀忠各霊屋の四隅及び四面振分位置の8か所から、輪宝を載せた槪が出土している。槪は八角形の棒状であり、輪宝は薄手の銅板を打ち抜き八方に三鈷をあしらった三鈷輪宝である。槪及び輪宝は、鑿による蹴彫りにより各部位を線刻し表現している。根の部分は大きく曲がるものが多く、また輪宝も槪に装着する中心孔から外側にかけて打圧変形が認められる。本来、鎮壇供養に際しては槌により槪の峰を地面に打

ち付けるとされており、鎮壇供養に伴う使用痕が認められる。

この他、「宝性院跡」教化研修道場発掘調査地で検出された江戸時代の掘立柱建物では、「屋敷地取作法」を実修した遺構が確認されている。建物中央と周囲四隅に土坑を設け、土坑には折敷を据え塞の目状に皿を置く。宝性院は真言宗小野流の中でも中院流の本家であり、中院流の儀軌に則った地鎮が行われたとみられる。「屋敷地取作法」が明らかになった例としては稀であり、実修された作法を復元できる遺物である。

地鎮及び鎮壇については、当初はそれぞれ執り行われていたが、後には「地鎮鎮壇合行法」として一度に執り行われることが多くなる。しかしながら、以上の例は地鎮及び鎮壇が別個に執り行われた例であり、真言密教の儀軌に則った事例であるといえる。また、出土状況、有機物及び使用痕など遺存状況が良好な点は、他の出土品に比べ特筆される。一方、各々ではその修法や用いられる法具にわずかな差異が認められ、これらは地鎮及び鎮壇供養に際しての口伝、流派及び格式の違いを表す。

以上の出土品は遺存状況も良好であり、真言宗の教義の中心にある高野山内の重要施設で発見されている点から、真言密教の儀軌を如実に示す重要な考古資料であるといえる。このように金剛峯寺境内出土の地鎮・鎮壇具は学術上の価値が高いことから、和歌山県指定文化財[美術工芸品(考古資料)]に指定して保護を図るものである。

【出土品の埋納時期】

調査地点	地鎮・鎮壇種別	推定年代
高野山靈宝館八大童子ほか保存施設発掘調査地	地鎮	16世紀後半～
金剛三昧院（客殿及び台所）	地鎮	16世紀後半(前身建物) 17世紀前半(～現在)
徳川家霊台（家康霊屋・秀忠霊屋）	地鎮・鎮壇	17世紀前半
金剛峯寺大門	地鎮・鎮壇	17世紀末～18世紀初頭
「宝性院跡」教化研修道場発掘調査地	屋敷地取作法	17世紀末～18世紀初頭